

今回は、新型コロナウイルス感染症対策の中で行われた 家庭科の取り組みに関し、お伝えいたします。

◇ その1 自宅待機期間の課題

家庭基礎を学ぶ2年生を対象として、「手作りマスク」と「調理実習」の課題を行った。手作りマスクの条件は、①形・サイズ・素材は問わない。②家庭にある資材を工夫して活用する。③環境保全の視点にたち、洗って何度も使用できるものとした。提出されたレポートや作品からは、課題の趣旨を理解しマスク製作や家庭での調理実習に意欲的に取り組んでいる様子がみられた。

【生徒感想】・2つ目の作品です。私は、新聞に掲載された型紙で作ったのですが、身体のサイズは人それぞれなのでその人にあったサイズを確かめて作りたいです。・二重になっているので安心だが、これからの季節には息苦しいと感じました。ゴムの長さを変えれば、その人にピッタリのマスクを作ることができるので、市販のものより、顔にフィットしウイルスが入りにくいのではないかと思います。・今後、第2波がきてマスクの入手が困難になっても、着なくなった衣服からたくさんのマスクが作れます。家族全員の分を作ってあげたいです。また、今の季節は高温多湿が続いているので、涼感があり通気性の高い布で夏用マスクを作りたいです。・災害時に備えてマスクを量産し手元に備えておくといざというときに役に立ちます。手作りマスクを活用してマスク不足で困っている人の助けになりたいです。



◇ その2 web会議システムを利用したオンライン学習支援

【回数(分/回)】30分/1回 40分/6回(映像配信3回・家庭での実習3回)

【科目/学習内容】家庭基礎(2年)/オリエンテーション・食物分野・家庭クラブ活動

オリエンテーション、マスク製作の課題確認、調理実習の説明と家庭での実習を行った。PPスライドによる授業とし、食物分野については調理実習として昼食献立(和食:親子丼ぶり・すまし汁、洋食:じゃこと小松菜のスパゲッティ、グリーンサラダ)、中華献立(麻婆豆腐、凉拌三絲)の3献立の説明を行い、それぞれ1回ずつ家庭での実習(または実習準備)を行った。

◇ その3 対面授業再開後の対応

分散登校中に学習プリントの記述内容の確認や質疑応答を中心に調理実習3回分の振り返りを行った。

◇ その4 現状と今後の課題

感染予防対策の観点から、調理実習は当面見合わせるようになっており、家庭での取り組みをその代替として行ってきた。グループ実習の実施方法を検討し、特別教室使用時は、座席配置の工夫や座席間隔の確保、パーテーションやミニホワイトボード等の活用、共用する器具や用具の使用前後の手洗いや消毒など、感染予防対策を行いながら授業を進めている。

来年度以降も、従来の家庭科学習が、同様に実施できないことが予想されるが、家庭科での学習と「新しい生活様式」の中で求められていることを関連付けながら、学習内容を精選し、慎重かつ柔軟に対応していきたい。